



フランス映画祭2019

6.21(金)-23(日) 福岡 西鉄ホール

Festival du film
français unifrance.jp/festival/2019 #FrenchCinema au Japon



AIRFRANCE



LACOSTE



PROCIREP

LOVE FM

鉄ホール

Club des Partenaires de la FRANCE dans le KYUSHU

福岡市 FUKUOKA CITY

フランス映画ファンに贈る感動の3日間

1993年から日本で開催されているフランス映画祭、今年も豪華ラインアップで福岡でも開催!心温まる母娘のドラマ、現代社会を生きる若者たちの群像劇、アニメーション、ミステリー・ホラー、楽しいヴァカンスのドキュメンタリーとフランス映画の多様性、その豊かな創造性を最新の作品とともにぜひ味わって下さい。

特別ゲストに『スクールズ・アウト』の監督セバスチャン・マルニエとプロデューサーのキャロリーヌ・ボンマルシャンをお迎えます。トークショーもお楽しみに!

特別ゲスト



監督『スクールズ・アウト』
セバスチャン・マルニエ
Sébastien Marnier

応用美術と映画を学び、『Mimi(ミミ)』(11)、『Quatre(キャトル)』(13)、『Une vie de petits fours』(13)と3冊の小説を上梓。その後、漫画出版社デルクールから出版されたグラフィック・ノベルが仏アルテ局で放映されたアニメシリーズ『Salaire net et monde de brutes broadcast』(16)となり、アニメの脚本も共同執筆した。映画監督としては、3本の短編映画を監督し、2016年に初の長編映画『欲しがる女』を手がける。主演を務めたマリナ・フォイスは、本作で2017年にセザール賞の主演女優賞にノミネートされた。



プロデューサー『スクールズ・アウト』
キャロリーヌ・ボンマルシャン
Caroline Bonmarchand

2002年、ラファエル・ナジャリ(『ザ・シェイド』、『ジョッシュ・ポランスキーの兄弟』)の長編2作品をプロデュースしたことがきっかけとなり、ニューヨークに3年間滞在し、アベニューBプロダクションを設立する。マーク・フィートシ、ラファエル・ナジャリやセバスチャン・マルニエといった新進気鋭な監督を初期からサポート。2017-2018年にはセバスチャン・マルニエの2作目となる長編映画『スクールズ・アウト』をプロデュースした他、数多くの監督作品を手掛ける。

上映作品紹介 ※全作品デジタル上映、日本語字幕付

Programme

特別上映



スクールズ・アウト

L'Heure de la sortie
2018年/フランス/フランス語/103分/スリラー
監督:セバスチャン・マルニエ
キャスト:ロラン・ラフィット、エマニュエル・ベルコ、グランジ
配給:ブラウニー

深まる謎…生徒たちの思惑とは…?!
フランス発学園ミステリー・ホラー

名門中等学校で、先生が生徒たちの目の前で教室の窓から身投げする異様な事件が発生した。新たに教師として赴任したビエールは、6人の生徒たちが事態に奇妙なほど無関心なことに気付く。彼らの冷淡で気まぐれな振る舞いに翻弄され、やがて6人が何か危険なことを企んでいることを確認するようになり……。

監督はセザール賞にもノミネートされたサイコスリラー『欲しがる女』で絶賛を浴びたセバスチャン・マルニエ。



カブールのツバメ **Les Hirondelles de Kaboul**

2019年/フランス、ルクセンブルク、スイス/フランス語/82分/アニメーション
監督:ザブール・プライトマン、エシア・ゴベ・メヴェレック
キャスト:ジタ・アンロ、スワン・アルロー、シモン・アブカリアン、ヒアム・アッバス

2019年、カンヌ国際映画祭 ある視点部門コンペティション作品。

1998年夏、アフガニスタンのカブールはタリバン勢力の支配下に。ズナイラとモーセンのカップルは、暴力と悲惨な現実の中でも希望を持ち続けていたが、ある行動が災いし……。2019年、カンヌ国際映画祭ある視点部門コンペティション出品。



宝島 **L'île au trésor**

2018年/フランス/フランス語/97分/ドキュメンタリー
監督:ギヨーム・ブラック

パリの北西にあるレジャー・アイランドでのひと夏。ある者たちにとっては冒険、誘惑、ちょっとした危険を冒す場所。他の者たちにとっては避難、逃避の場所となっている。世界の喧騒とどこかで響き合いながら、この場所には有料の海水浴場もあれば、目につかない片隅、あるいは子供たちが探求する王国もある。『女っ気なし』(2011)、『やさしい人』(2014)などで日本で大人気のギヨーム・ブラック監督の最新作、夏休みの人々を独特のおおらかな眼差しで記録したドキュメンタリーを特別にご紹介します。



社会の片隅で **Les Invisibles**

2018年/フランス/フランス語/102分/コメディ
監督:ルイ=ジュリアン・プティ
キャスト:オドレイ・ラミー、コリンヌ・マシエロ、ノエミル・ヴォヴスキ、デボラ・ルクムエナ

社会の陰で、もがきながらも強く生きるフランス女性たちを描いた感動作

行政の決定により、ホームレスシェルターが閉じることになった。閉鎖までの3か月、ソーシャルワーカー達はあらゆる手を使って、入居者達を社会に出そうと奮闘する。社会の片隅で、もがきながら生きる女性たちを描く。



愛しのベイビー **Mon bébé**

2018年/フランス/フランス語/87分/コメディドラマ
監督:リザ・アズエロス
キャスト:サンドリーヌ・キベルラン、ヴィクトール・ベルモント、ミカエル・ルミエール

どんなに大きくなって、子供はママにとって、愛しのベイビー。

シングル・マザーで、3人の子持ちのエロイーズ。末娘のジャードも18歳になり、カナダに留学することに。別れを前に娘をスマホで撮影し、センチメンタルな日々を送っていた。子離れできない母親の葛藤を描いた作品。



ウルフズ・コール **Le Chant du loup**

2019年/フランス/フランス語/115分/アクション
監督:アントナン・ポドロー 出演:フランソワ・ジヴィル、オマール・シー、マチュー・カソヴィッツ、レダ・カテバ 配給:クロックワークス

“黄金の耳”と呼ばれる人並み外れた聴覚を活かし、フランス海軍原子力潜水艦の分析官として従事するシャンテレッド。ある日、シリアでの潜航任務にて彼の判断ミスから危機を招いてしまうが、その際に彼の耳を感させたのはこれまでの記録になく、正体不明のまるで“狼の歌”のようなソナー音を放つ艦艇だった。任務後、秘密裏に“狼の歌”の解析に挑むシャンテレッド。だが、ベールリング海よりフランスへ向け核ミサイルが放たれる。相手は“狼の歌”とのことだが果たして…。



マイ・レボリューション **Tout ce qu'il me reste de la révolution**

2018年/フランス/フランス語/88分/コメディ
監督:キャスト:ジュディス・デイビス
出演:マリク・ジディ、クレア・ドゥーマス、メラニー・ベステル

人生はうまくいかないことばかり。一人で理想を追っても、何も変わらなくて…。共産主義の両親に育てられた30代のアンジェルにとって、現代社会は憤りを感じることばかり…。活動家だった父は歳をとり、母は政治思想を捨て田舎へ移住。全てに行き詰ったアンジェルは、徐々に母に会いに行くことにする。



嵐 **Hurlevent**

2019年/フランス/フランス語/6分/短編
監督:フレデリック・ドアザン

様々な国や地域の文字たちが、嵐のように本から溢れ出す…。

強い風が吹き、道端の一冊の本が開いた。すると、数字、記号、様々な国や地域の文字が、本から溢れ出し…。たくさんの文字が、うごめき、形を成し、ぶつかり合い、やがて消えていく…。先鋭的なアニメーション作品。

- 6.21 **金** ven 19:00 嵐 *Hurlement* [6分] + カブールのツバメ *Les Hirondelles de Kaboul* [82分]
-
- 6.22 **土** sam 11:00 宝島 *L'île au trésor* [97分]
- 14:00 社会の片隅で *Les Invisibles* [102分]
- 17:00 嵐 *Hurlement* [6分] + 愛しのベイビー *Mon bébé* [87分]
- 19:30 ウルフズ・コール *Le Chant du loup* [116分]
-
- 6.23 **日** dim 13:30 マイ・レボリューション *Tout ce qu'il me reste de la révolution* [88分]
- 15:30 **特別上映** スクールズ・アウト *L'Heure de la sortie* [103分]
 ※上映後セバスチャン・マルニエ監督とプロデューサーのキャロリーヌ・ボンマルシャンによるティーチンあり(45分間)
- 19:00 クロージングDJパーティー LOVE FMのDJによる音楽でお楽しみください。

会場



西鉄ホール
 福岡市中央区天神2-11-3
 ソラリアステージビル6F
 Lieu : Nishitetsu Hall,
 6^e étage de Solaria Stage
 (2-11-3 Tenjin, Chuo-ku, Fukuoka)



【料金】

映画鑑賞料金(1プログラムにつき)

前売 1,200円/当日 1,500円(2プログラム以降は半券のご提示で前売と同料金)

割引(クラブフランス会員、学生、60歳以上)1,000円

セット料金

特別上映(ゲストトーク有)+クロージングDJパーティー:前売のみ 3,000円

フランス映画祭Pass:3プログラム 3,000円(4,500円)/5プログラム 4,500円(5,800円)/7プログラム 5,500円(6,700円)

※()内は、クロージングDJパーティーとのセット券

クロージングDJパーティー料金(鑑賞料金含まず) 当日のみ 2,000円

前売り販売:チケットびあ Pコード550-087 / ローソンチケット Lコード84213

お問い合わせ:アンスティチュ・フランセ九州 (Tel : 092-712-0904)

共催:アンスティチュ・フランセ日本、ユニフランス・フィルムズ、LOVE FM 提携:西鉄ホール 協力:九州フランスパートナーズクラブ

Tarifs :

Séance : Prévente 1.200 yens / Sur place 1.500 yens / Membres du Club France, étudiants, + de 60 ans : 1.000 yens

Soirée de clôture : Sur place 2.000 yens

Prévente spéciale clôture (séance de 15h30 + soirée) : 3.000 yens

Pass Festival : 3 séances 3.000 yens (4.500 yens) / 5 séances 4.500 yens (5.800 yens) / 7 séances 5.500 yens (6.700 yens)

* () tarif incluant la soirée de clôture

Préventes: Ticket Pia P-code 550-087 / Lawson ticket L-code 84213

Renseignements : Institut (Tél. : 092-712-0904)

Coorganisé par l'Institut français du Japon, UniFrance et LOVE FM

En coopération avec Nishitetsu Hall

Avec le soutien du Club des Partenaires de la France dans le Kyushu et le parrainage de la Ville de Fukuoka